

# 安全データシート

## [SDS]

### 01. 製品及び会社情報

製品名	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(JISK6742品) HIVP		
商品名	KCビニルパイプ		
会社名	株式会社クボタケミックス		
住所	〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号		
担当部門	品質保証部 小田原品質保証課		
電話	0465-48-3138	FAX	0465-48-1254
緊急連絡先	株式会社クボタケミックス	電話	0465-48-3138

### 02. 危険有害性の要約

#### GHS分類

#### 物理化学的危険性

可燃性固体	分類できない
自然発火性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
酸化性固体	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する危険有害性

急性毒性	分類できない
皮膚刺激性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性	分類できない
---------	--------

### 03. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

原料	化審法 官報公示整理番号	CAS番号
塩化ビニル樹脂(約92%)	(6)66	9002-86-2
錫及びその化合物(約1~3%)	混合物のため 該当せず	混合物のため 該当せず
衝撃強化剤(約4~6%)	混合物のため 該当せず	混合物のため 該当せず

### 04. 応急処置

皮膚に付着した場合:	特に必要なし
眼に入った場合:	傷ができた場合は医師の診察を受ける
飲み込んだ場合:	多量に飲みこんだ場合は医師の診察を受ける

### 05. 火災時の措置

消火剤:	難燃性
火災時の 特定危険 有害性	周辺火災の場合には、水(棒状、霧状)、粉末、泡消火剤を使用する。 製品及び消化水等が下水、河川、海域へ流出しないように処置する。 加熱分解するとHCl、CO、CO <sub>2</sub> などのガスが発生するので注意する。
特定の消化 方法	消化作業は、可能な限り風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外立ち入りを禁止する。
消火を行う 者の保護	消火作業の際は、保護眼鏡を着用する。

## 06. 漏出時の措置

特になし

## 07. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 火気を近づけない 放り投げ厳禁  
保管: 直射日光を避け、通気の良い場所に保管する。

## 08. 暴露防止及び保護措置

管理濃度: 該当なし  
許容濃度: 日本産業衛生学会 (1992年版): 該当なし  
ACGIH (1992年版): 該当なし  
設備対策: 特に必要なし  
保護具: 特に必要なし  
呼吸用保護具: //  
保護眼鏡: //  
保護手袋: //  
保護衣: //

## 09. 物理及び化学的性質

外観: 個体  
沸点: なし  
蒸気圧: なし  
揮発性: なし  
融点: なし  
比重: 1.35～1.45  
溶解度: 水に溶解しない

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性: 通常の大気下、および常温のもとで安定である  
避けるべき条件: 火気を近づけない。  
危険有害な分解性成物: 燃焼すると刺激性のガス(HCl)を発生する。  
着火温度: 391℃  
発火温度: 454℃  
可燃性: 酸素指数約45の自己消化性樹脂である。  
発火性: 常温では発火しない。  
酸化性: 常温では安定である。  
粉塵爆発性: 粉塵爆発に対して安定である。

## 11. 有害性情報

不明

## 12. 環境影響情報

現在のところ知見なし

## 13. 廃棄上の注意

排気ガス処理装置付き焼却設備で焼却するか、または非危険性廃棄物として埋め立てる処分作業は取り扱いおよび保管上の注意事項に留意して行う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	記載なし
特定の安全 対策及び条件	荷崩れ、落下などに注意する。輸送作業は取扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。

## 15. 適用法規

化審法	該当せず
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	該当せず
高圧ガス保安法	該当せず
消防法	該当せず
毒劇物取締法	該当せず
船舶安全法	該当せず
労働安全衛生法	該当せず
PRTR法	該当せず

## 16. その他

記載のデータや評価は、現時点で入手出来る資料や情報に基づいて作成していますがそのデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、このデータや評価は必ずしも充分ではありませんので取扱いには十分に注意をお願いいたします。